

就労系障害福祉サービスにおけるICT機器等導入支援事業 実績報告書

自治体名

愛知県

【基本情報】

フリガナ	株式会社就労センターシュワウセンター
法人名	株式会社就労センター
フリガナ	オアシスリュウ
事業所名	オアシス知立
提供サービス(複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択)	
就労継続支援B型	
職員数(常勤換算数)【「全職員の月間勤務時間数」/「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
9.0人	

【報告に当たっての確認事項】 ※記載内容を確認し、チェックすること(○をつけてください)。

<input type="radio"/>	導入経費の算定に当たっては、複数の業者から見積書を徴した。
<input type="radio"/>	ICT機器は生産活動を行うために利用者自身が使用した。
<input type="radio"/>	ICT機器を導入することにより、利用者の工賃や賃金が向上した。

1. 経費実績

(1) 補助対象経費の実支出額	139,920 円
※実際支払った費用の総額を記載	
(2) 補助基本額	139,920 円
(3) 補助所要額	104,000 円
※[1(2)×3/4]にて算出(千円未満切捨)	

2. 事業実績

(1) ICT機器等を導入した業務内容(特に該当するもの1つに○をつけてください)

分類(活用内容)	回答
AI機器の活用	<input checked="" type="radio"/>
ロボット技術等の活用	<input type="radio"/>
アプリ・ソフトウェアの活用	<input type="radio"/>
その他	<input type="radio"/>

(2) 導入した主なICT機器内容

ポケトークは、AIを活用した携帯型翻訳機であり、インターネット接続を通じて高精度リアルタイム翻訳を実現する機器であります。本機器は、100以上の言語に対応しており、音声入力を即座に翻訳し、音声およびテキストで出力する機能を備えています。

主な特徴として、翻訳精度の高さに加え、使用者の発音や話し方を考慮した自然な翻訳が可能である点が挙げられます。また、コンパクトなデザインと直感的な操作性により、外国語に不慣れな利用者でも簡単に使用できることが特長です。

(3) ICT機器等を導入したきっかけ

当事業所では、就労継続支援B型事業所として、利用者の工賃向上とやりがいのある生産活動の提供を目指しています。しかしながら、近隣に大規模な団地があることから外国人利用者の在籍があり、さらに外国人からの問い合わせも多く寄せられています。

特に、作業能力のある外国人利用者は、通訳を通じて生産活動の説明を受けることで作業内容を適切に理解し、スピーディかつ正確に業務を遂行できます。しかし、日本語でのコミュニケーションが難しいため、支援員との意思疎通が十分に図れず、生産活動の円滑な進行に支障をきたしているという課題がありました。

この課題を解決するため、AI翻訳機「ポケトーク」を導入し、外国人利用者と支援員の言語の壁を取り除くことで、業務指示の伝達を円滑化し、作業効率の向上を目指すこととしました。ポケトークの活用により、外国人利用者が支援員の指示を正確に理解しやすくなり、よりスムーズな生産活動の実現が可能になると考え、本機器の導入に至りました。

(4) ICT機器等を導入した具体的な取組内容

当事業所では、外国人利用者の生産活動への円滑な参加を促進し、作業量の増加による工賃向上を目指し、AI翻訳機(ポケトーク)を導入しました。本機器の活用により、外国人利用者と支援員との間の言語の壁を取り除き、スムーズな業務指示や報告連絡相談を可能にすることで、業務の効率化を図りました。

具体的には、生産活動の説明を行う際にAI翻訳機を活用し、日本語から英語、ポルトガル語、中国語など、外国人利用者が理解しやすい言語で作業の進め方や注意点を伝えられるようにしました。これにより、作業内容の理解度が向上し、指示の伝達ミスが減少するとともに、作業スピードと正確性の向上が期待できます。

また、外国人利用者が日本人スタッフへ報告・相談を行う際にも、母国語で話した内容を即時に翻訳できるようになり、業務上の意思疎通がスムーズになりました。これにより、業務に関する問題点や改善点を迅速に共有できるようになり、作業の質向上にも寄与しています。

この取り組みを通じて、外国人利用者がより主体的に生産活動へ参加できる環境を整え、結果として作業量の増加を実現し、工賃向上へとつなげることが可能となりました。今後も、AI翻訳機を活用しながら、より円滑なコミュニケーションの確立と生産活動の効率化を進めていきます。

(5) ICT機器等を導入した際の効果

AI翻訳機の導入により、外国人利用者と支援員とのコミュニケーションが円滑化されました。従来は身振り手振りや筆談を用いて意思疎通を図っていたが、翻訳機を活用することで、言語の壁を越えたスムーズな対話が可能となりました。

これにより、外国人利用者が業務指示を正確に理解しやすくなり、作業の進行がスムーズになりました。また、言葉の不安や誤解が減少することで、利用者自身のストレスが軽減され、より集中して業務に取り組める環境が整い、その結果、作業効率が向上し、生産性の向上にも寄与しています。

今後も翻訳機の活用を進め、さらなる業務の効率化と利用者の作業環境改善を図っていく予定です。

(6) 事業所が抱える課題

AI翻訳機(ポケトーク)を導入したことで、外国人利用者と支援員とのコミュニケーションがスムーズになり、生産活動の進行が円滑化されました。しかしながら、導入後の運用を通じて、いくつかの新たな課題も浮き彫りになっています。

1つ目は、翻訳精度の限界という課題があります。ポケトークは多言語に対応し、高い翻訳精度を誇るものの、専門用語やニュアンスの違いによる誤訳が発生することがあります。特に、生産活動に関する細かな作業指示や注意点を正確に伝えるためには、翻訳結果の確認や補足説明が必要になる場面も多くなります。利用者によっては、翻訳された言葉だけでは十分に理解できないことがあり、作業の正確性に影響を及ぼす可能性があります。

2つ目は、リアルタイムでの活用における運用課題が挙げられます。ポケトークは音声翻訳機能を備えているが、作業中の騒音環境や複数人が同時に話す状況では、音声認識が正しく機能しないことがあります。また、翻訳結果をその場で確認しながら対応するため、支援員が作業指導に集中できない環境づくりも重要になります。

最後に、対面コミュニケーションの課題があります。ポケトークの導入により言語の壁は低くなったものの、機械翻訳に頼りすぎることで、表情やジェスチャーを交えた自然な対話が減少し、信頼関係の構築が難しくなるケースも考えられます。特に、微妙なニュアンスや感情の伝達においては、翻訳機に依存せず、直接の対話や補足説明を組み合わせることが重要となります。

就労系障害福祉サービスにおけるICT機器等導入支援事業 経費報告書

自治体名 愛知県

【基本情報】

法人名	株式会社就労センター	
事業所名	オアシス知立	
職員数(実数)	9	人
施設利用者数	61	人

※別紙1から自動入力

※別紙1から自動入力

機器台数等との著しい矛盾が生じていないか確認します。

実支出額: 139,920 円

機器導入費用(合計)	初期設定に要した費用(合計)	値引額(合計)
139,920	-	

No.	導入内容	数量	単価	機器導入費用	初期設定に要した費用
1	ポケットーク S PLUS	4	34,980	139,920	
2				0	
3				0	
4				0	
5				0	
6				0	
7				0	
8				0	
9				0	
10				0	
合計				139,920	-

<p style="text-align: center;">備考 (特別な事情等があれば記載)</p>	
---	--

※ 本内訳書の資料として、納品書及び領収書の写し(PDFファイルに限る。)を添付すること。